

向こう 1 か月の天候の見通し

気象庁地球環境・海洋部

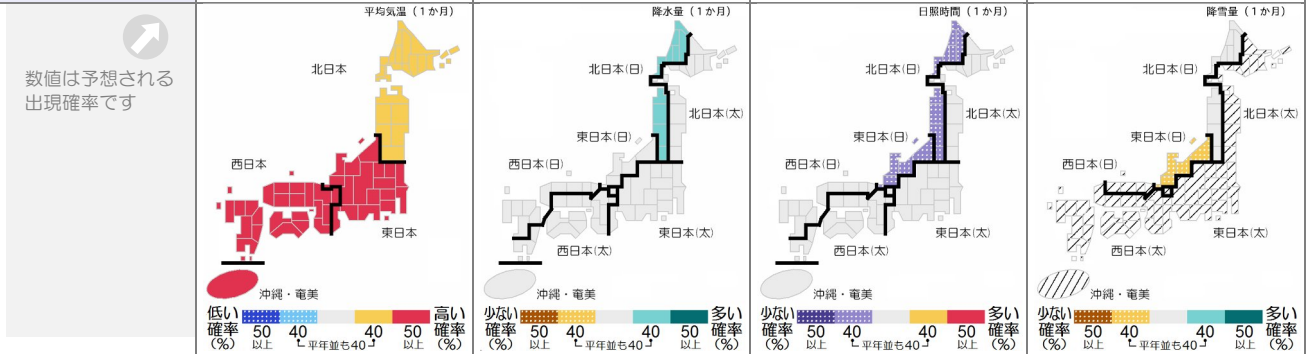
（11 月 24 日～12 月 23 日）

予報のポイント

- 全国的に暖かい空気に覆われやすいため、東日本以西では向こう1か月の気温は高く、北日本でも平年並か高いでしょう。特に沖縄・奄美は、期間のはじめは気温がかなり高くなる所がある見込みです。また、東日本日本海側は、向こう1か月の降雪量は平年並か少ないでしょう。
- 北・東日本日本海側は気圧の谷の影響を受けやすいため、向こう1か月の日照時間は平年並か少ない見込みです。北日本日本海側は、向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
北日本	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報していません
東日本	日本海側	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報していません
西日本	日本海側	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報していません
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報していません
沖縄・奄美		低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報していません



季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の天候

<p>(1 週目) 11/24~30</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北日本日本海側は気圧の谷の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側は気圧の谷の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本日本海側は高気圧に覆われやすく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 北・東・西日本太平洋側は高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美は数日の周期で天気が変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
<p>(2 週目) 12/1~7</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北日本日本海側は気圧の谷の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側は気圧の谷の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側は気圧の谷の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側は気圧の谷の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美は数日の周期で天気が変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
<p>(3~4 週目) 12/8~21</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北日本日本海側は、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側は、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美は数日の周期で天気が変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

週別の平均気温

	平均気温 (1 週目) 11/24~30	平均気温 (2 週目) 12/1~7	平均気温 (3~4 週目) 12/8~21
北日本	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み
東日本	低 10 並 40 高 50% 高い 見込み	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み
西日本	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み

↑
数値は予想される出現確率です

平均気温 (1 週目)

平均気温 (2 週目)

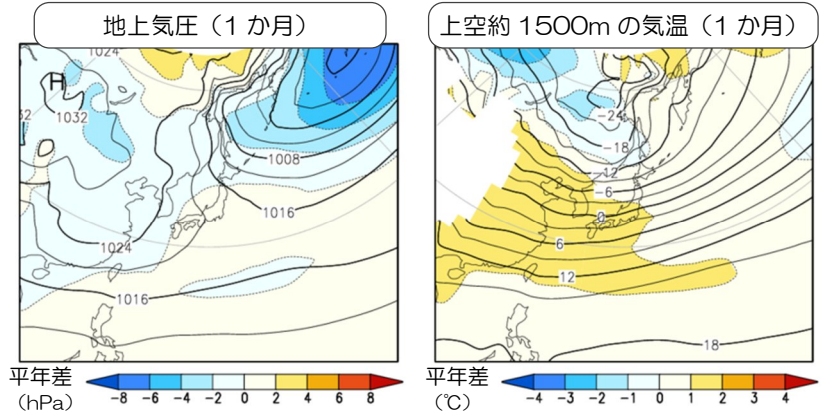
平均気温 (3~4 週目)

低い確率 (%) 50 40 平年並も 40 50 高い確率 (%)

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本付近は平年との隔たりが小さい予測です。

上空約 1500m の気温（右図）は、日本付近は東日本以西を中心に平年より高い予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温（1 か月）の 平年並の範囲		降水量（1 か月）の 平年並の範囲	日照時間（1 か月）の 平年並の範囲	降雪量（1 か月）の 平年並の範囲
北日本	平年差：-0.3~+0.5℃	北日本	日本海側 平年比：96~109% 太平洋側 平年比：70~109%	平年比：91~105% 平年比：97~104%	平年比：83~112% —
東日本	平年差：-0.2~+0.5℃	東日本	日本海側 平年比：90~107% 太平洋側 平年比：60~119%	平年比：88~111% 平年比：96~105%	平年比：27~96% —
西日本	平年差：-0.3~+0.6℃	西日本	日本海側 平年比：85~114% 太平洋側 平年比：74~124%	平年比：92~106% 平年比：96~105%	— —
沖縄・奄美	平年差：-0.3~+0.5℃	沖縄・奄美	平年比：70~116%	平年比：93~109%	—

	平均気温（1 週目）の 平年並の範囲	平均気温（2 週目）の 平年並の範囲	平均気温（3-4 週目）の 平年並の範囲
北日本	平年差：-0.8~+0.8℃	平年差：-0.8~+0.8℃	平年差：-0.5~+0.6℃
東日本	平年差：-0.6~+0.6℃	平年差：-0.5~+0.7℃	平年差：-0.4~+0.7℃
西日本	平年差：-0.7~+0.7℃	平年差：-0.6~+0.7℃	平年差：-0.4~+0.7℃
沖縄・奄美	平年差：-0.4~+0.7℃	平年差：-0.6~+0.8℃	平年差：-0.4~+0.5℃

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い（少ない）確率が 50%以上 (40 : 40 : 20)	平年並が低い（少ない）見込み 低い（少ない）見込み